

事業コード	H19-建-新-01		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道道路改築費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改良(バイパス)		班 名	企画・高速道路班 (tel) 018-860-2485
路線名等	一般国道285号		担当課長名	加藤 修平
箇所名	五城目町中津又		担当者名	主幹兼班長 石山 良英
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H27 (8年)		総事業費	24.7億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=2,070m、幅員(構成)W=6.5(9.5)m、(1.5-6.5-1.5)m 歩道有部W=6.5(12.0)m トンネルL=295m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、秋田市を起点とし北秋田市を経て鹿角市に至る幹線道路であり、十和田八幡平及び阿仁森吉山観光を支援する観光道路の機能を有するほか、秋田市と県北部を最短距離で結ぶルートとして、産業・経済の地域間交流を促進する重要な路線である。また通学路及びバス路線に指定されており、地域内交通を支える生活道路にもなっている。しかし当該区間は幅員狭小(W=5.5m)で急カーブ(R=50m)が連続するため、交通事故が多発しており、安全な交通を確保できていない状態にある。</p> <p>広域的な幹線道路として円滑な交通流動と、地域住民の安全を早急に確保する必要があるため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>現況：交通量7,280台/日、大型車(混入率20.4%、交通量1,482台/日)</p> <p>大型車すれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援)</p> <p>緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実)</p> <p>地域住民、道路利用者の安全確保(事故率50件/億台km)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度以降
	事業費		2,470,000	50,000	150,000	200,000	2,070,000
	経費内訳	工事費	2,087,000			140,000	1,947,000
		用補費	123,000		80,000	43,000	
		その他	260,000	50,000	70,000	17,000	123,000
	財源内訳	国庫補助	1,358,500	27,500	82,500	110,000	1,138,500
		県 債	500,000	10,000	30,000	40,000	420,000
その他							
一般財源		611,500	12,500	37,500	50,000	511,500	
事業内容		改良 977,000 トンネル1110,000	路線測量 詳細設計	用地補償費 用地測量 構造物設計	用地補償費 改良工	改良工 舗装工 トンネル工	
調査経緯	<p>平成13年度 道路概略設計</p> <p>平成18年度 道路予備設計</p>						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画「第3期実施計画」における施策「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」及び「いつでもどこでも受けられる医療体制づくり(三次医療アクセス)」を支援する事業						
関連プロジェクト等	人流・物流・情報流の拠点として輝きある国内外交流の展開(あきた21総合計画「第3期実施計画」:秋田地域)						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>幅員狭小で急カーブのため、交通事故が多発しており、H11年に死亡事故、さらにはH17年に大型車両の転落事故などの重大交通事故が発生し、道路利用者の安全性が脅かされている。(事故率50件/億台km)</p> <p>当地域をカバーする三次医療施設(秋田市)へのアクセス道路として、緊急に整備する必要がある。</p>						
事業効率把握の手法	指標名	路線整備率					
	指標式	整備率(整備済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	91 %		データ等の出典	道路統計年報		
	達成値 b	88 %					
達成率 b/a	96 %		把握の時期	平成19年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	秋田都市圏と県北地域を結ぶ広域幹線道路であるが、幅員狭小で線形不良のため大型車のすれ違いに支障をきたし、地域内の安全が脅かされている状態である。 通学路及びバス路線に指定されている生活道路でもあるが、交通事故が多発しており地域内の安全が確保されていない。(事故率50件/億台km、H11死亡事故発生、H17大型車転落事故発生)	31 点
緊 急 性	生活圏内の周辺市町村を繋ぐ連絡道路としての役割を担い、また日本海沿岸東北自動車道・五城目八郎潟ICへのアクセス道路として地域振興への影響が大きい。 地域をカバーする三次医療施設(秋田市)へのアクセス道路として整備の緊急性が高い。 大型車混入率が20%を超える路線であり、大型車による重大事故も発生していることから、地域住民の安全を確保するため早急に整備する必要がある。	5 点
有 効 性	緊急輸送道路に指定されており、防災対策上、整備は有効である。 阿仁森吉山及び十和田八幡平の観光ルートとして、冬期においても安全な交通を確保できる。	15 点
効 率 性	事業の費用便益比は1.72であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値21.1億円 ・総便益の現在価値36.3億円	20 点
熟 度	平成18年に中津又地区(五城目町大手～落合)の9自治会から、当該区間の改良要望が出されている。 平成16年に五城目町長から早期着手の改良要望が出されている。	10 点
判 定	ランク ()	81 点
	判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業は実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	選定 改善して選定 保留
	秋田都市圏と県北地域を結ぶ幹線道路で、物流からも地域振興への寄与度が大きく、県内90分交通体系の確立に向け、重点的に整備を進めてきた路線である。 当該区間は幅員狭小で急カーブが連続し、冬季の安全確保に支障をきたし、整備の必要性は高い。継続中の工区も含め路線全体としてコスト縮減と早期供用に配慮した中での当該事業の実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意 見 内 容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は幅員の狭小、線形不良等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考える。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所を国に新規要望する。 ・事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
--

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H19-建-新-01)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (五城目町中津又)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	17	2次改築事業については該当しない	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	12			
	・最小半径 < 100m	1箇所	7			
	・最急勾配 > 5%					
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0			
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18	14	2次改築は配点36点 2次改築は配点28点 2次改築は配点20点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点	
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	14			
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	10			
	・現道の事故率 50件	2件該当	6			
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3				
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0				
計			35	31		
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5		
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3			
	・地域振興プロジェクト					
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0			
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5			
特有の課題の有無	位置づけなし	0	0	0		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	あり	10				
なし	なし	0	0	0		
計			20	5		
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	8		
		第2次輸送路	7			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	7		
	1施策該当	5				
	該当なし	0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10		
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	10	10		
		1,000台/日以上~5,000台/未満	5			
	1,000台/日未満	0				
計			20	20		
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4		
		口頭要望あり	2			
		要望なし	0			
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3		
		用地反対	0			
地元への方針説明	あり	3	3			
	なし	0				
計			10	10		
合計			100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		